

王子特殊紙静岡製造所閉鎖闘争

中労委での和解により解決!

王子特殊紙は二〇〇七年一月、静岡市柳町の工場閉鎖を発表した。紙・産業界における市街地工場からの撤退は、昭和四〇年代から地価の高騰と共に加速され、静岡市街にある安倍川工業、佐野製紙の合併以来危惧されていた問題がいよいよ具体化されたものであった。

爾来三年半にわたり多彩な要求を掲げ、その実現を目指し、地域労組を中心に支援共闘会議を結成(〇八年一月)、団体交渉、大衆行動を積み重ねてきた。しかし、事業所閉鎖は会社の専権事項であるとの主張や第一組合の先行安堵に阻まれ、中身の無い団交で、支援共闘としては

高裁逆転判決の影響下での審問継続中であった。両事件は、県労委の不当な申立却下後、中労委での審問中それぞれ解決を見たため、解決内容は、決して納得いくものではないが、労働界の全体的な力量低下、少数派労働運動の力量など総合的に判断すれば、この時点での解決はやむをえないものであった。

広がった地域共闘の和!

闘いの成果は、闘いの経過、勝ち取った内容、そしてとりわけ闘える審問・口頭弁論への弁護団の献身的な努力や傍聴体制を組む中で法廷議の結成は、総評・県評解体後地



本年七月に開設された「しずおか労働相談センター」

闘いの概要

請負で、王子特殊紙と斎藤梱包に対し雇用確保と損害賠償を求める訴訟を静岡地裁に起した。一方、王子特殊紙は九月に組合事務所明け渡し訴訟を静岡地裁に起した。

一〇年二月と五月にかけて県労働委員会と地裁から申し立てられ、組合事務所明け渡しの不当な命令と判決が出された。組合と支援共闘会議は中労委に再審査の申し立てを求め訴訟を起した。組合事務所問題は一〇年五月東京高裁で団交拒否事件は八、十月に中労委で和解。その結果県労働委員会の命令は失効した。

偽装請負裁判は十月に中労委で和解により取り下げる。



安倍川製紙労働組合支援共闘会議(以下「支援共闘」)は、王子特殊紙の一方的な工場閉鎖の半年前に結成されました。結成以降の活動は、よくもこんなに多くの取り組みができたのか?なぜ毎回多くの仲間が集まったのか?と考えると、共闘の仲間が持つてくる連帯の強さを実感しました。

五回の団体交渉、二波におよんだ王子本社行動・社長宅付近の情宣行動・東京ドーム前情宣行動(王子製紙の都市対抗野球出場)

二年九ヶ月の御支援に感謝します

安倍川製紙労働組合支援共闘会議議長 森下茂

安倍川製紙労働組合支援共闘会議(以下「支援共闘」)は、王子特殊紙の一方的な工場閉鎖の半年前に結成されました。結成以降の活動は、よくもこんなに多くの取り組みができたのか?なぜ毎回多くの仲間が集まったのか?と考えると、共闘の仲間が持つてくる連帯の強さを実感しました。

その後、労働委員会・裁判闘争へ移行しても、原告を中心に弁護団の奮闘、支援共闘の仲間の傍聴体制の維持によって闘いが継続され、ギリギリの選択だとは思いますが、会社側に和解せざるを得ない状況を生み出しました。

ただ、私の反省点は労働委員会・裁判闘争に移行してから、上記に紹介したような創意工夫した大衆的な運動が支援共闘として取組めなかったことです。

安倍川闘争は終わりましたが、今後も第一、第三の安倍川闘争があるかもしれません。その際は、皆さんと共に支援共闘結成で闘っていきましょう。二年九ヶ月、支援共闘を支えてくれた仲間の皆さん、本当にありがとうございました。

王子特殊紙 団交拒否・偽装請負
2010年11月9日

闘争解決報告 支援共闘 ニュース

---安倍川製紙労組支援共闘会議---

右・森下支援共闘会議議長
上・二〇〇八年王子製紙本社への抗議行動

仲間からの連帯

斉藤梱包不当労働行為事件に寄せて

中央労働委員会労働者側委員
片倉 利夫

斉藤梱包不当労働行為事件の解決のためにそれぞれの分野でご尽力を頂きましたみなさま大変ご苦労さまでございました。心より皆様方の闘いに敬意を表します。

私は今回の事件を通じていえることは、労働者は闘うことによつて、苦しくとも闘いを継続することによって必ず活路を見出すことができるということについて改めて確信した次第であります。

その意味で今回の斉藤梱包不当労働行為事件の当事者である伊藤さん、勝山さん、山梨さん、酒井さん、そして静岡ふれあいユニオンの小沢委員長はじめユニオンのみなさん、安倍川製紙労組支援共闘会議に結集されたみな

右・二〇〇九年九月 決起集会
左・二〇〇九年十月 県労委審問



ねばり強い闘いこそ!!

全国一般労働組合全国協議会副委員長 遠藤 一郎

ねばり強い事務所防衛闘争と偽装請負弾圧の闘い、和解、苦闘

安倍川製紙労働組合の企業合併、工場移転に伴う連動拠点組合事務所防衛闘争と、梱包部門の構内請負が偽装であったことを追求める闘いが、一括和解を勝ち取ったとの報告を受けました。

内容は、組合にとって決して満足なものではないとのことですが、ねばり強く闘い、静岡と新工場の二カ所の闘いの拠点を防衛しきつたことは大きな成果だと思います。さらなる闘いの前進を期待し、連帯のメッセージと致します。

闘いあつてこそ解決

空港は知らない静岡県民の会 事務局長 桜井建男
あきらめずに闘った結果の解決です。あとに続く人への励ましをめぐり力強く前進されますことをご期待申し上げます。

共に闘った弁護士からのメッセージ

お疲れ様

弁護士 増本雅敏

感じたことの一つ、王子も特殊紙も斉藤さん(斉藤梱包社長)も働く人のことを少しも考えていない。

生身の人が普通に働いて暮らして行くことの大変さを理解していない。会社の人や向かいの席に沢山座ってましたが、恥ずかしくないのかね。

二つ目、公平で公正な県労委の先生。不当行為を糾弾し働く人を守り、救済するということが仕

事でしょ。しっかり仕事をしてもらいたい。何を考えてんのかねえ。

三つ目、分会のみなさんよく頑張りました。何度も打ち合わせを

それでも勝利的和解
弁護士 佐野雅則

平成20年の夏、軽い気持ちで参加したのが運の尽きだった。合計四つの事件を担当することに。当初は、大阪高裁判決を旗印に盛り上がっていたが、例の最高裁判決で撃沈、明渡訴訟も敗訴

誰が何と言おうと我々労働者の勝利である。

闘いの成果を今後の運動に

国鉄労働組合静岡地方本部 執行委員 福田哲久

王子特殊紙の都合で静岡事業所の閉鎖・移転が発表され、多くの従業員が転勤に際することなく退職し、構内で働く下請け労働者が仕事を奪われました。

25年前、国の施策により国鉄が民営化されることになり、多くの労働者が職場を去り、残った者も差別を受けて採用を拒否されました。企業と国の違いこそあり



二〇一〇年五月 静岡中部地区メーデーで訴える 斉藤梱包分会 伊藤会長

れ、そこに働く者のことを微塵も感じないことへの怒りが、支援共闘の支えとなり団結の力となったことは間違いのないと思います。

国鉄闘争は「雇用問題」、安倍川・斉藤労働争は「社長の謝罪」を残して満足とは言えないまでも和解は成立しました。私たちは23年と、2年9カ月の闘いの成果を、今後の地域労働運動に活かしていく必要があります。

実質的勝利解決
静岡県職員組合静岡支部 おめでとーございます

闘争の実質的勝利解決おめでとーございます。一つ一つの闘争が労働者の権利を社会的に認知させるものであり、同じ労働者として、また労働組合として連帯し支援していく大切さを感じています。

一つ闘争が終了しても、また新たな労働者に対する不法な行為が続くことが予想されます。労働者の権利の拡大、保証に向け引き続き頑張ります。最後に闘争に尽力された方の御苦勞に感謝いたします。

王子特殊紙拒絶・偽装請負事件を終えて

弁護士 佐藤 治郎

団交拒否・偽装請負事件が急展開により解決しました。最高裁判決や地労委での棄却の續断が出た中、会社の重い腰を上げさせ和解により解決できたのは、何よりも組合や原告の方々の厚い情熱があったからだと思います。

事務所の確保→素晴らしい

浜岡原発を考慮する静岡ネットワーク
市民運動といえども、その中身は労働者とダブルことは多い。原発にも労働者はいる。だから労働運動と市民運動をあまり意識的に分ける必要はないと思っ

「浜岡原発を考慮する静岡ネットワーク」は結成から14年を経過するが、この間事務所を転々と

支援御礼と今後の決意

富士でも運動を進めます
三年弱にわたる閉鎖反対の闘いに多くの支援を寄せてくださった皆さんにこの場を借りて感謝します。

今回の解決に先立って二年前

闘いの経過

- 二〇〇七年 1月 工場閉鎖を発表
- 二〇〇八年 1月 支援共闘会議結成
- 二〇〇八年 4月 偽装請負中止申出
- 5月 本社に申入行動
- 6月 偽装請負中止指導
- 7月 会社団交拒絶を表明
- 7月 不当労働行為申立
- 7月 工場閉鎖を強行
- 8月 斉藤分会地裁提訴
- 9月 事務所明渡訴訟
- 二〇〇九年 10月 団交拒絶 三事件結審
- 12月 団交拒絶 三事件結審
- 二〇一〇年 2月 一三事件申立棄却
- 3月 地裁事務所明渡判決
- 3月 組合事務所高裁控訴
- 3月 二三事件申立棄却命令
- 5月 組合事務所高裁和解
- 7月 労働相談センター設立
- 8月 中労委 三事件和解
- 10月 中労委 三事件和解
- 11月 解決発表

しずおか労働相談センター
静岡市葵区田町3-5-6
TEL 054-271-7302
FAX 054-271-7339

これから皆さんと共に！
斉藤梱包分会として、闘いの二年余、数多くの人々の見守られながら、四名で頑張ってきた折れそうになるのを、皆様の物心両面の協力を得て、何とか続けていくことができました。本年10月12日の集会で、中労委の和解案を受け入れ、解決を見ました。長い間の支援に感謝し、これからは、万分の一のお返しができる様、努力して参ります。

静岡ふれあいユニオン
斉藤梱包分会
執行委員長 伊藤政雄